

令和3年度証券ゼミナール大会主旨文：第1テーマ

日本におけるベンチャーファイナンスのあり方

コロナウイルスによって日本社会は混乱の渦に巻き込まれた。先行きが見えない中、日本のベンチャー企業に対する資金調達環境と出口戦略の現状と課題を踏まえた上で、日本におけるベンチャーファイナンスの具体的方策について突き詰めていただきたい。

【論点1】：ベンチャー企業の資金調達における現状と課題

具体的方策を提言するにあたり、ベンチャー企業の資金調達状況の現状を整理していただきたい。その上でどのような課題が存在するのかを見極めてほしい。

【論点2】：ベンチャー企業の出口戦略における現状と課題

ベンチャー企業はさまざまなステークホルダーを有しており、そのほとんどが出口戦略の遂行を目指す。日本のベンチャー企業の出口戦略における現状と課題について見極めてほしい。

【論点3】：ベンチャー企業におけるクラウドファンディングのこれから

近年、ベンチャー企業の資金調達手法としてクラウドファンディングの認知度が高まってきている。そこで、この先のベンチャー企業の資金調達手段としての有効性や、そのあり方を議論してほしい。

【論点4】：望ましいベンチャーファイナンスの具体的方策

総括的に日本における望ましいベンチャーファイナンスを模索していただきたい。

【留意点1】：ベンチャー企業の成長段階に応じた分析を行うこと

ベンチャー企業にはさまざまな成長段階があり、その段階に応じて現状や課題が異なる場合があるため各成長段階ごとに深く追及すること。

【留意点2】：様々なステークホルダーを考慮して方策を提言すること

ベンチャー企業は成長するにつれて多くのステークホルダーを有していくため、提言はそれらステークホルダーを加味した多角的な視点を持って行うこと。

※補足説明

- ・ベンチャー企業とは「新しい技術、新しいビジネスモデルを中核とする新規事業により、急速な成長を目指す新興企業」と定義する。
- ・「ベンチャー企業」は IPO すべき、M&A すべきといった結論や討論は、あくまでそれぞれのベンチャー企業によって異なるものであり控えていただきたい。
- ・議論対象期間については特に定めず、出口戦略を講じた後の経営状況を加味した上で提言しても良い。
- ・コロナショックの捉え方はさまざまであり、必ずしもネガティブなものではない。